

もっと素敵に! “日常のおしゃれと暮らし”を素敵にする40代、50代のライフスタイルマガジン

© FW&Co., 2015

大人のおしゃれ手帖

4 APR. 2015 定価780円

COVER LADY 桐島かれんさん

西山 舞さんに教わる大人肌
春のベースメイク講座

東洋医療の力で
更年期を“養生”する

春は絶対ニュアンスボブ!

住まいも遊び心を大事に
暮らしを彩る
「飾る」楽しみ

バッグインバッグ
としても使える!



付録Ⅰ
【ブランドアイテム特別付録】

コンジェ ペイエ
アデュートリストテス
ビーターラビット™
ファスナー付きミニトート

サイズ[W5.5×H17×W30(上部)×D9cm]
*着脱生地のため、柄の位置は
写真と異なります。

1st Anniversary
創刊1周年記念
読者122名様
プレゼント!

これが 大人の日常着

春から着こなす新定番

- ・「白」「紺」「ベージュ」が着こなし上手の3大カラー
- ・大人だから似合い始める柄がある
- ・毎日のスカート着こなし帖

旬素材を丸ごといただく
お家でおいしい春の天ぷら

気分がアップする! 春バッグコレクション

おでかけがもっと楽しい!
歩けるおしゃれ靴54

ふるさと納税、知っていますか?



付録Ⅱ【別冊付録】

本上まなみさんと
歩いて旅する春の京都

～「ママや」向田邦子さん、和子さんが
引き継いだお惣菜と暮らしの知恵～

向田家の食卓から

持ち寄るものは、食べたい野菜や果物と、いつもの調味料。
新生活をスタートする季節に最適な、新しい、おもてなしの形。

とりどりの野菜がテーブルいっぱいに並び、おしゃべりも弾みます。

photograph: Yumiko Miyahama styling: Kyoko Komai text: Ayumu Yuki coordinate: Hirokazu Asai(village)

【第五回】おひろめサラダ

新しいことを始める季節 おひろめサラダのすすめ

日に日に春が近づいてきました。4月は一番に、「若葉」を思い浮かべます。青々として柔らかい若葉は、新しいことに挑戦するわくわくとした気持ちに、どこか似ているような気がします。

今回は、そんな若葉からヒントを得て「おひろめサラダ」を思いつきました。気心が

知れた友人や、おいしいもの好きな仲間うちで、野菜や果物を持ち寄る参加型のサラバーティです。珍しいもの、新しいもの、気になっていたもの……。野菜や果物と、ドレッシングや塩、オリーブオイルなんかを好き好きに持ち寄ります。まずは、テーブルにそれぞれが持ってきたものを並べて、「あら、珍しい」たの「見るからにおいしそう」だの、あれこれ意見交換するのです。それから、葉物ならちょっと味見をして、「これは生で食べられる」「これはさつと茹でましょう」など、調理法を相談します。そして、野菜を洗ったり、茹でたり、蒸したり、焼いたり……。おしゃべりしながらみんなで手を動かします。

今回、私を含めて6人で野菜や調味料を持ち寄りましたが、偶然、同じものが重なることもなく、これが大成功。私が用意したのは、鶏肉とじやがいの簡単なミルクスープとパンくらい。それでも、こんなに色とりどりで豪華な食卓になりました。

おもてなしというと、つい、あれこれ張り切つてしまいがちですが、これなら、自分もお客様も肩肘張らず楽しむことができます。実験するようにワイワイ言なが

ら、新しい発見をしたり、自分の好きなものを再確認できたり。いろいろな空気が出

こうしつこりっこ、ここでも新年です。私は、

日ごろから、料理は一番身近な「もの作り」

だと思っています。新しいことを始める、

この季節にぴったりの「おひろめサラダ」。

ぜひ、お試しください。

今月の 生活ひとつくちメモ

・新しい野菜との出会い方

仕事などで初めての街へ行くときは、必ず約束の20分钟左右前に到着するようにして数箇所見つけ立寄る。ふらふら歩いて本屋や八百屋を見つけて立ち寄ると、その街の特性が知れて面白いものです。ただし、距離感はとても大事。おそらく八百屋でおいしそうな野菜や珍しい野菜を見つけると試しに買ってみること

・ご近所付き合い

新天地で新しい生活をスタートさせる方も多いかもしれません。最近は近所付き合いも希薄なものになっています。よって数箇所見つけ立寄る。ふらふら歩くあつたときにお互いに安心できます。

ただし、距離感はとても大事。おそらく分けする際も、相手に負担を感じさせない程度と頻度に気をつけています。

・毎年恒例の楽しみを見つける

の街の何本目の桜がきれいな時期。私は、「あき、その桜を毎年、ひとりで見に行くことを楽しみにしています。勝手に「これが私の桜」と決めているんですね。なんではことないのですが、そういう小さな幸せを見つけることも、人生を楽しむ秘訣です。大きなイベントがなくても、誰かと一緒にでも、心の持ちようで、いくらでも変わることができます。

むこうだかずこ

エッセイスト。向田家の三女、向田邦子さんの9歳違いの妹。美容家秘書、会社勤務、喫茶店経営を経て、1978年、赤坂に邦子さんとともに、酒・惣菜の店「ママや」を開店。20年間営業を続けた。著書に『かけがえのない贈り物　ママやと姉・向田邦子』(文藝春秋)、『向田邦子　その美と暮らし』(小学館)など。



新しいことを始めるいい季節。
口にしたことのない野菜や果物を持ち寄って
気の合う仲間と「発見」をわかち合うのも楽しいものです。
—— 向田和子 ——